



よつば

August, 2020

発行：医療法人勢成会 井口野間病院
編集：広報委員会



～基本理念～
私たちは、患者さん、
ご家族を援助します

❀目次

- 新任Dr紹介.....2
『竹田先生・村山先生』
- 部署紹介.....3
『リハビリテーション課』
- 院内感染委員会より.....4
『新型コロナウイルス感染症その次にくるものとは？』

ドクターインタビュー

平成31年4月より、当院で勤務されている竹田先生のご紹介です(^^)/

Q. 幼少期の、将来の夢は何でしたか？

郵便配達員でした。

サンタクロースに届けられる手紙を追って、サンタクロースの正体を突き止めようと目論んでいました。

Q. 休日の過ごし方は？

凝った料理に挑戦したり、ドライブに行くこともあります。でも多くはダラダラと過ごしています。

Q. おすすめの映画を教えてください！

「ニューヨーク東8番街の奇跡」

「ターミナル」

「インセプション」

Q. 医学の道、そして精神科を選んだ理由は？

父が医師だったので、自然とこの道を選びました。

“人の精神”という、数値では表せないものへの医療にロマンを感じたのが入り口です。



精神科医師
竹田 章吾 先生

* 略歴 *

長崎大学 医学部卒業

・ 浜の町病院

・ 九州大学病院

・ 太宰府病院

・ 九州医療センター

などで勤務

令和2年4月より、再び常勤になられた村山先生のご紹介です!(^^)!



精神科医師
村山 亮太 先生

* 略歴 *

九州大学 医学部卒業

・ 太宰府病院

・ 河野病院

などで勤務

Q. 好きな季節はいつですか？

秋ですね。春は出会いと別れで忙しいし、夏は暑いし、冬は寒いから。

Q. 好きな色は？

虹色です。

Q. 座右の銘を教えてください！

“急がば回れ” 診察でも良く使います。

Q. 作れる料理は？

目玉焼き.....くらいなら。

Q. 最近変わったことはありますか？

犬嫌いなのに犬を飼いました。

ようやく慣れてきて、今では可愛いと思います///

～2度目のインタビューへのご協力、ありがとうございました(^^♪ (1度目はVol.6に掲載) ～

当院では、今まで作業療法士による精神科作業療法をおこなってまいりました。
令和2年度より疾患別リハビリテーション施設基準「脳血管Ⅱ」「運動器Ⅱ」を取得し、理学療法士や言語聴覚士による個別リハを始めました。1人1人に合わせた幅広いリハビリテーションを実施しております。

新しい精神科リハビリテーションを目指して リハビリを通して心も身体も支えます

作業療法



工芸、書道、回想法、体操、園芸、コグニサイズなど作業療法士が患者様の状態にあわせたプログラムを実施しています。また、毎日の活動だけではなく、季節に合わせた行事をはじめ、病棟レクなども行っています。

当院では、精神疾患により生活に障害をもった方々に対し、他の人たちとの関わりや、具体的・現実的な作業活動(遊び、創作的なものから日常生活に関連するものまで)を利用し、精神機能の向上、対人関係能力の改善、作業能力の改善などをはかり、その人にとってのより良い生活が送れるように指導、援助を行っていきます。



活動内で作成した作品(ペーパーロール)

言語療法



コミュニケーションや食べる問題を持つ人に対し、豊かな生活が送れるよう言語聴覚士が訓練をいたします。当院では摂食機能療法も実施しています。

理学療法

精神科に勤務する理学療法士の数は全国的にまだ少ないです。当院では2名の理学療法士が患者様の基本的動作能力の回復を図るため、運動療法を行い日常生活動作の機能改善を図ります。



院内リハのほかに、訪問リハも始めました。

また、当院の訪問看護ステーション ステップやデイケアとも連携していますので、お気軽にご相談ください。

「新型コロナウイルス感染症」その次にやってくるものとは？

東京オリンピックは本当に開催できるの？

毎日のように耳にする「新型コロナウイルス」ですが、終息の目処が立たない状況が続いています。一方で、2020年東京オリンピックが2021年されることが決定していますが、世間には「本当に開催できるの？」という疑念も少なからず存在していると思います。少なくとも私はこういった疑念を感じている一人です。

「ウイルスの次にやってくるもの」

内閣府から緊急事態宣言が発令された最中の4月21日、YouTubeに一つの動画が投稿されました。日本赤十字社から投稿されたその動画には『ウイルスの次にやってくるもの』というタイトルがつけられ、「もしかしたらウイルスよりも恐ろしいもの」として、ウイルスに対する過剰な怯え、人に対する疑いや恐れだと伝えられていました。先ほどの「本当に東京オリンピックが開催できるの？」という私の疑念も、未知のウイルスへの怯えや感染拡大の懸念、人から人へと感染し「自分も感染したら...」という恐怖を抱いているからだと思います。日々、怯えや恐怖を抱いて過ごす日常が「コロナ疲れ」に繋がったり、心の健康を保つことを阻害しているのかもしれない。

恐怖に打ち勝つためにできること

私たちはウイルスに対して予防行動をとる中で、少なからず怯えや恐怖、漠然とした不安を抱いているのだと思います。動画には、笑顔と日常が大切で、みんながいつものように過ごすことで、団結して恐怖に打ち勝てるというメッセージがありました。いつものように過ごしたり、スマホやテレビを見ない時間を作ることで恐怖を感じる時間は少なくなると思います。そして、それぞれの場所で家族や友人と接することで笑顔になったり、その時間を楽しむことで笑顔の輪を広げていくことがウイルスの次にやってくる恐怖に打ち勝つこともできるのです。

著：井口野間病院 院内感染対策委員会



医療法人 勢成会 井口野間病院 INOKUCHI NOMA HOSPITAL

〒815-0074 福岡市南区寺塚1丁目3番47号

TEL:092-551-5301 FAX:092-553-8587

URL: <http://www.inokuchinoma.com/>

- 診療科目 / 精神科216床
- 診療時間 / 平日：9:00~12:30 13:30~17:00
- 事前予約制 / 土曜：9:00~12:30
- 面会時間 / 毎日：10:00~12:00 13:45~16:30

日曜
祭日は
休診

交通のご案内

- 天神から西鉄バス51・52番系統で35分、快速151・152番系統で25分
- 博多駅から西鉄バス64・65・67番系統で40分
- ※長住1丁目バス停で下車、大池なないる保育園の角を左折。
野間大池バス停で下車、野間大池交差点を右方向、最初の信号を左折。
- 西鉄高宮駅からタクシーで5分

